

2021 .11.15

しおさい

# 潮騒

近年、環境問題、とりわけプラスチックごみが海に流出し、生態系に悪影響を及ぼしていることが深刻な問題となっています。昨年度、環境への配慮からレジ袋の有料化が始まったことは記憶に新しいのではないのでしょうか。一人ひとりの意識が未来を左右するといっても過言ではありません。

表浜においても自然環境を大切に、今後も海の恵みが享受できるようにしていきたいものです。

## CONTENTS

- ◆特集1「表浜風土記」 ..... P1
- ◆特集2「校区の話題」 ..... P2
- ◆特集3「活動紹介」 ..... P3～4
- ◆連載「表浜の地形と暮らし」第4回～屋敷林と土塁に取り囲まれていた表浜の集落と農家～ ..... P5
- ◆田原市東部太平洋岸総合整備促進協議会の概要 ..... P6
- ◆表浜タイムズ ..... P7
- ◆令和3年度事業計画 ..... P7





神戸校区は15の地区で構成され、北は汐川に沿った市街化区域、南には太平洋に面した農業地帯が広がっています。

今回は神戸校区の取組について市民館の仲井主事に取材しました。



神戸市民館周辺の風景

### 質問1 今年度面白いイベントを実施したと伺いました。

神戸夏まつり大会の代替イベントとして、8月7日に水上ゴザ走り大会を開催しました。神戸小PTA、神戸子ども会と共同で実施し、児童151人の参加がありました。ルールは20mのゴザをプールに浮かべ、完走を目指すものです。大人がゴザを支え、そこから落ちたら失格となります。新型コロナウイルス感染症対策で密を避けるため、地区別開催とし、地区を5組に分け30分ごとに実施しました。



前傾姿勢で足を上げることが完走のコツ!

水上ゴザ走り大会



この後プールに落ちる校長先生

### 質問2 当日の様子はいかがでしたか?

完走できた子は半分くらいでしたが、ゴザから落ちた子に対しても「がんばれ」などの声援があり、和気あいあいとした雰囲気の中、子どもたちが真剣に走る姿が印象的でした。保護者の参加もあり、ゴザ走り大会は大いに盛り上がりました。その後はプールに沈めてあるビー玉を潜って探すゲームを行ったり、アイスを食べたりと笑顔あふれる1日となりました。

### 質問3 イベントを開催してみて。

コロナ禍で制限される活動が多いですが、開催方法など工夫することによってみんなが楽しめるイベントを実施することができました。神戸校区では今後も感染対策を講じた上で、そば打ち道場を始め、多くの方が参加したいと思える取組を行っていきたいです。お気軽にご参加ください。



郷原池で栽培されているそばの花



そば粉から練り上げてつくる本格的なそば打ち体験!おいしい手打ちそばを食べられます。

# 3 活動紹介 ● 田原東部小学校



全校児童数が279人と市内でも比較的大きな田原東部小学校。  
今回は田原東部小学校の特色ある活動について教務主任の渡邊健二先生に取材しました。

## 質問1 特色ある活動について教えてください。

特色ある活動として、農業体験が挙げられます。総合的な学習の時間で、5年生は学校の隣にある田んぼで田植えや稲刈りなどお米作りを体験します。収穫したお米は、10月のほうべの森での日帰りキャンプの際に飯ごう炊きさんをし、ちょっとした自給自足を楽しみました。お米作りの他に、1・2・6年生はさつまいも、3年生はオクラ、4年生は落花生と畑でいろいろな作物を育てています。

## 質問2 田んぼや畑の管理についてはどうしていますか？

地域の方やPTA委員の方に全面的にご協力いただいています。地域の方には農作物をつくるにあたっての指導を始め、水の管理などを、PTA委員の方には消毒や草刈りを行ってもらいます。農業体験は学校と地域一体の活動です。他にも、地域の方には児童の登下校時の付き添いやクラブ活動での指導などでお世話になっています。

## 質問3 農業体験を通じて学んでほしいこと

地域の方やPTA委員の方によるサポートがあってこそこの体験なので、感謝する気持ちを持ってもらいたいです。また、外で遊ぶ機会が減る中、天気や害虫対策など農業の大変さに触れながら、自然に親しむことも大事にしてほしいです。



稲刈り



田植え



落花生の植え付け



昨年度の日帰りキャンプ

# 活動紹介 ▶ 表浜ほうべの森 (田原市谷ノ口公園)

太平洋を臨む谷ノ口海岸のすぐ近くに位置する表浜ほうべの森。オープンから5年を迎えた今、谷ノ口公園管理委員会の福井公雄さんに取材しました。

## 質問1 キャンプ場の利用状況を教えてください。

コロナ禍のため、貸し出すスペースに限りがあるものの、昨年度より利用は増加しました。4月から7月までの来場者数は前年度から4,252人増えて6,737人でした。昨年度と同様、新型コロナウイルス感染症対策として、利用者の方にはスペースを広く借りてもらっています。



## 質問2 運営する上で大切にしていることは？

特に大切にしていることは美観維持です。というのも自然を楽しめる環境をつくることにより、ほうべの森が癒しの場となれればと考えるからです。芝生の草刈りは、1週間に2回、毎週木曜日はスタッフ7名で作業をしています。また、お客様に協力してもらい、ごみの持ち帰りを徹底するなど環境美化に努めています。

## 質問3 最近の取組について教えてください。

昨年度から市内の小学校の日帰りキャンプを受け入れています。直近では10月に田原東部小学校の利用がありました。日帰りキャンプでは、薪割り体験を始め、小学生にキャンプを楽しんでほしいという思いから、ミニキャンプファイヤーなどを行います。他にも、毎年海の日には里山里海体験会を行っています。昨年度は、100名近くの参加があり、海岸で拾ってきた貝殻などを使い、子どもたちは工作を楽しみました。今後は他の事業者とも協力し、当地でのイベント開催などを通じて、地域のにぎわいをつくっていききたいです。皆さんぜひご来場ください。

### 里山里海体験会



海岸で貝殻を探す参加者



工作に取り組む子どもたち

表浜ほうべの森 TEL●0531-24-8901

# 表浜の地形とくらし

第4回 ～屋敷林と土塁に取り囲まれていた表浜の集落と農家～／藤城信幸



写真1 1980年頃の六連小学校周辺の斜め写真

写真1は、40年程前の六連小学校周辺の様子です。手前にある森は保安林で海食崖まで続いています。標高40～50mの台地には、野菜の作付け前の黄褐色の畑が広がり、国道42号の南には、濃い緑の林に囲まれた集落が見られます。



図1 1995年の西浜田地区の集落配置図

図1は、1995年に調査したこの地区の集落配置の様子です。母屋と門長屋をもつ10数戸ほどの農家が、屋敷林と土囲い(土塁)の中に屋敷を構えていました。これは、渥美半島特有の冬の強い北西風(伊吹おろし)と、南から吹き付ける台風時の暴風から屋敷を守るための防風対策によるものです。屋敷林は西側と北側が特に厚くなっています。屋敷に入る入口(カド)は、南か東側に設けられています。屋敷の西や北側に道路があったとしても、必ず南か東側に「カド」を設け屋敷に入るようになっていました。



図2 表浜の一般的な農家の母屋の間取りと配置図

図2は、母屋と門長屋、灰部屋からなる渥美半島の伝統的な農家の平面図と、フスマで仕切られた田の字型の母屋の間取りを示した図です。屋敷内の北に中二階のある母屋、南に門長屋、東に灰部屋と言われた堆肥舎や農具置き場があり、大便所が付くこともありました。屋敷の西側に建物を作ることは家相上からも嫌いました。田の字型の母屋には、「ナンド(当主夫婦の寝室)」、「カッチ(食堂)」、「オデイ(座敷・仏間)」、「オオエ(居間)」があり、南に「エンガワ」、東に「ダイドコロ(食事の準備)」が付いていました。「ダイドコロ」と「ニワ(農作業場)」は土間で続いていました。「ニワ」の隅に「フロ(風呂場)」があり、母屋の玄関の東に小便用の瓶が埋めてありました。門長屋は西側から若夫婦の寝室、穀物部屋、通り抜け、牛部屋になっていました。大草半身～六連浜田までの農家は、門長屋の軒下に「タタキ」を掘り、雨水を貯めて生活用水に使っていました。1966年当時の渥美郡では葉タバコ栽培が盛んで、摘み取ったタバコの葉を乾燥するための乾燥室を建てた農家もたくさんありました。

ほとんどの農家が牛部屋で一頭の黒牛を飼っていて、通り抜けに牛車が停めてありました。稲藁や米糠を餌に飼われた牛は、牛車や耕具をひかせて運搬や農耕に使われていました。牛の糞尿は堆肥舎で発酵させ、「マヤ(堆肥)」として畑に供給されました。1960年頃から耕耘機が急速に普及し、牛も牛車もその役割を終えました。また、昭和30年代までは、副業として庭先で家畜を飼っていた農家も多く、母屋の縁側の下で数羽のニワトリを飼ったり、豚小屋で1～3頭の豚を飼ったりしていました。豚の餌は残飯やくず米、デンプンの絞<sup>かす</sup>りのサツマイモでした。食肉用に売るウサギや乳を搾るためのヤギを飼っていた農家もありました。

## 「みんなで考え・行動する地域づくり」

# 田原市東部太平洋岸総合整備促進協議会の概要

### ■会長あいさつ

#### 田原市東部太平洋岸総合整備促進協議会 会長 岡田 惣二

本協議会は平成8年の発足以来25年目になります。六連・神戸・大草そして田原東部の4校区が主体となり、田原市の協力をいただきながら、自立した地域活動を歩み進めて参りました。協議会の活動の一つに「表浜自然ふれあいフェスティバル」があります。この行事は、表浜海岸の大自然の魅力を感じながら、崖森の崩落や海岸侵食の現状を広く知ってもらうことを目的に毎年開催しているものです。地域の方やボランティア、サーフィン協会、田原市立東部中学校など、多くの方々に携わっていただいています。

このようなイベント等を通して、同じ海岸環境を持つ地域との連携をとりながら、行政と一体となって海岸侵食対策、地震対策等に取り組むとともに、太平洋岸地域の快適で住みよい環境整備が実現できるよう活動していきたいと思っております。



### 今後の協議会の取り組み

- ・太平洋岸の魅力を発信するイベントの開催
- ・海浜・崖森・農地エリアのエリア別の整備促進
- ・渥美半島全体の連絡調整
- ・関係機関への要望活動等の展開

### ■協議会組織（令和3年10月現在・順不同）

役員	会長	岡田惣二(田原東部コミュニティ協議会長)
	副会長	鈴木義人(六連コミュニティ協議会長)、浅野正三(神戸コミュニティ協議会長)、藤原喜郎(大草コミュニティ協議会長)
委員	市議会議員	大竹正章、仲谷政弘、赤尾昌昭、村上誠
	漁業関係者	河合浩一(愛知外海漁業協同組合幹事)、太田行彦(愛知外海漁業協同組合網元代表)
	市農業委員	井坂育男、河合信好、藤城忠義、河邊高章
	市役所	鈴木正直(副市長)、鈴木隆広(産業振興部長)、稲垣守泰(都市建設部長)、増山禎之(教育部長)
顧問	山下政良(田原市長)、山本浩史(愛知県議会議員)、鈴木照彦(愛知みなみ農業協同組合代表理事組合長)	
事務局	市役所企画部企画課	

## ●表浜自然ふれあいガーデン 実現に向けてのこれまでの動き

海と森と農村における「自然と人」「人と人」のふれあいの庭(ガーデン)をイメージし、その実現のために、海・砂浜・崖・森・農地の保全と利用を図ると同時に、新たにレクリエーション・保養・学習などふれあい機能の導入を図るものです。

### ハード事業

#### ◆海岸整備(県事業)

- ◇海岸保全事業(傾斜護岸)：百々海岸(H19)、離岸堤調査・工事(豊橋田原海岸)
- ◇海岸治山事業：8箇所要望中・随時実施予定(R3実施：六連町西海岸、南神戸町方辺)

#### ◆拠点地区の整備促進(市事業)

- ◇公衆便所整備事業：谷ノ口海岸(H9)・大草海岸(H10)・百々海岸(H11)・東ヶ谷海岸(H13)
- ◇海岸駐車場事業：大草海岸(H11)・百々海岸(H12)
- ◇公園整備事業：表浜ほうべの森整備(H18～)
- ◇観光地維持管理事業：浜田海岸レンタルトイレ1基設置(R3.5月～12月)

### ソフト事業

#### ◆表浜自然ふれあいフェスティバル(協議会事業)

- ◇メイン海岸：谷ノ口(H10,25,26,28～R1)、東ヶ谷(H13,19,22)、百々(H12,15,18,21,24)、大草(H11,14,17,20,23,27)※H16は分散開催

## ●農地エリアの整備 実現に向けてのこれまでの動き

### ハード事業

#### ◆農村・農地の整備(市事業)

- ◇農村振興総合整備事業：大草・高松地区(H18～)／田原東部地区(H19～)
- ◇農用地基盤整備事業：谷熊新田排水対策(H20～H26)
- ◇農地・水・環境保全向上対策(H19～H25)
- ◇多面的機能支払事業(H26～)

# 表浜タイムズ

## 整備事業の推進

田原市東部太平洋岸総合整備促進協議会では、海岸及び防風林・保安林などの管理者である愛知県に海岸保全施設及び治山施設整備の要望活動を例年行っています。協議会からの要望に対して、愛知県によって着実に整備が進められており、昨年度は六連町道盤、東神戸町井戸島、南神戸町東浜辺での治山工事が完了しました。今年度は9月時点で六連町西海岸の工事を実施しています。



愛知県への要望活動 (R3.8.12)

### 六連町西海岸

工事前



工事中



### 六連町道盤

工事前



工事了



### 東神戸町井戸島

工事前



工事了



### 南神戸町東浜辺

工事前



工事了



## マナー啓発看板の設置

昨年、本誌で大草海岸にマナー啓発看板が設置されたことを紹介しました。大草海岸の事例を参考にし、令和3年3月に久美原海岸・東ヶ谷海岸・谷ノ口海岸にもマナー啓発看板を設置しました。マナーを守り、表浜海岸の豊かな自然環境を守っていきましょう!



## 第23回 表浜自然ふれあいフェスティバル

令和2年11月28日に表浜自然ふれあいフェスティバルを開催しました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、親睦会は行わず海岸清掃のみを実施しました。



大草海岸の参加者

## 令和3年度事業計画

### 主要事業

#### 第24回表浜自然ふれあいフェスティバル

日時 ● 令和3年11月27日(土) 午前9時～9時50分  
※悪天候の場合は、11月28日(日)に延期

場所 ● 久美原海岸、百々海岸、浜田海岸、東ヶ谷海岸、谷ノ口海岸、南町海岸、大草海岸

内容 ● 海岸清掃

※新型コロナウイルス感染症の状況によっては、内容の変更が生じる場合がございますのでご了承ください。

### 主な推進事業

農村総合整備事業：田原市産業振興部農政課  
[大草・高松地区、田原東部地区]

多面的機能支払事業：田原市産業振興部農政課  
[六連・神戸・大草・田原東部各校区]

海岸治山事業：愛知県東三河農林水産事務所

海岸保全対策：愛知県東三河建設事務所

谷ノ口公園管理事業：田原市都市建設部街づくり推進課

★表浜地域づくり情報誌「潮騒」や「協議会活動」に対するご意見・ご要望・ご感想をお寄せください。

【発行】田原市東部太平洋岸総合整備促進協議会(事務局:田原市役所企画部企画課) 〒441-3492 愛知県田原市田原町南番場30-1 TEL0531-23-3507